

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月 8日 更新

事務事業名		菊池台地用水土地改良区・合志土地改良区・西合志土地改良区運営支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6 産業の健康					所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博
	施策	26 農業の振興					所属課	農政課	担当者名	岡田 晃治
	施策の柱	69 生産基盤の確保と経営力の強化					所属班	農地整備班	(内線)	5225
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 12	事業連番 10262	根拠法令			
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・菊池台地用水土地改良区、合志土地改良区、西合志土地改良区への人件費や適正化事業に対する補助金交付事業。人件費への補助根拠は、「合志及び西合志土地改良区運営等補助金交付要綱」と「菊池台地用水土地改良区に対する関係市町村の財政支援協議書（菊池理事長、合志市長、菊池市長、山鹿市長、大津町長、熊本市長の公印有）」による。 ・昭和43年土地改良区設立時より、行政からの補助が続けられ、土地改良区組合員の賦課金の軽減を目的としている。
【業務の流れ】	・事業計画申請→内示→補助金申請→交付決定→補助金交付事務
【主な予算費目】	・款6－項1－目12－節18 負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・合志土地改良区、西合志土地改良区の合併・統合はできないのか（議会・事業仕分け）

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 菊池台地用水土地改良区、合志土地改良区並びに西合志土地改良区の人件費等に対して補助金を交付した。 菊池台地用水土地改良区運営等補助金2,097千円 合志土地改良区運営等補助金5,451千円 西合志土地改良区運営等補助金2,120千円		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 菊池台地用水土地改良区、合志土地改良区並びに西合志土地改良区の人件費に対する補助金の交付事務。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:助成件数		菊池台地用水土地改良区職員の人件費の上昇に伴う補助金の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
土地改良区組合員		→ア:土地改良区組合員数 (単位) 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
負担が軽減される。		→ア:歳入に対する補助金の割合 (単位) %
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
・受益者への支援を行うことにより、農業経営の安定を図る。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア:件	件	3	3	3	3	3	3	3	3
② 対象指標	ア:人	人	1,539	1,534	1,534	1,534	1,534	1,534	1,534	1,534
③ 成果指標	ア:%	%	13.1	11.9	11	11.9	11	11	11	11
投資 入費 量	事業 費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	12,566	12,558	9,685	9,669	9,705	9,686	12,701
	人件 費	(A) 事業費計	千円	12,566	12,558	9,685	9,669	9,705	9,686	12,701
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4
人件 費	延べ業務時間	時間	750	750	750	590	750	750	750	750
		(B)人件費計	千円	2,932	2,854	2,988	2,148	2,988	2,988	2,988
	トータルコスト(A)+(B)		千円	15,498	15,412	12,673	11,817	12,693	12,674	15,689

事務事業名	菊池台地用水土地改良区・合志土地改良区・西合志土地改良区運営支援事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 前年度並は見込める。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】 土地改良区の職員により運営されており、健全な財務内容であり安定した団体経営がされているが、両土地改良区が合併し、事務所も農政課内に置くことにより更なる事務の効率化が図れる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 他に類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 財務内容を検討し、事業費の削減を行っている。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 削減余地が見当たらない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 受益者全体の負担軽減になっており公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 土地改良事業は農家・公共団体の仕事であり、受益者の負担を軽減し、後継者の育ちやすい環境をつくるのは、市が行うことは妥当である。

3 評価結果の総括（CHECK）

土地改良区への補助は、組合員の賦課金の軽減及び農業振興の観点から今後も必要である。
更なる事務の効率化を図るために合志、西合志両土地改良区の合併を検討する必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☒事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 事務の効率化のために合志、西合志土地改良区の合併を推進する																							